

カウンセラーが伝授！

幸せオーラを味方につける

夫婦・恋人のカタチ講座



私も家族も、「自分らしく」「笑顔で」「気持ちよく」
家庭で過ごせたらいいですね。
恋人どうしても、対等な関係っていいですね。
「大切な私」と「パートナーとの関係」を見つめる
大切な時間となるように、カウンセラーが
進行役をします。

2017年

参加無料

11/23(祝・木)

◎ 講師 フェミニストカウンセラー
加藤佐紀子さん
(公益財団法人 名古屋YWCA)

◎ 定員 : 30名 どなたでも
参加申込み不要

◎ 障がいのある方へ
要望に応じ、学習サポートをします
まずはご相談下さい

◎ 3:00～ 個別相談を受け付けます
3:30～5:00 フリートーク 自由参加
講師の話を振り返り 話し合いタイム

◎ 1:30～3:30 託児あり ひとり500円
11/8までに豊川共生ネットみらいに
申込み要。定員あり
詳しくは豊川共生ネットみらいにお問合せ下さい
託児の従事:(特非)とよかわ子育てネット

午後 1:30~3:00

豊川市 勤労福祉会館

1F 研修室

名鉄豊川線 諏訪町駅から徒歩5分

豊川工業高校の隣

豊川市新道町1丁目1番地の3

無料 駐車場あり

全ての問合せ先・託児の申込み先

豊川共生ネットみらい

(活動の目的:男女共同参画社会の推進)

TEL 090-6088-5309

✉ mirai2001kara@gmail.com

ホームページ <http://mirai.net.cn>

思いあたりませんか？

私に「バカ」とか「能無し」とか言う。

いつも彼の機嫌をそこねないように気を配っている。

出典:沼崎一郎著 「男は何故暴力を選ぶのか」

愛知県健康福祉部DV理解の出前講座

企画 運営:豊川共生ネットみらい

後援:豊川市

豊川市教育委員会

豊川市社会福祉協議会

豊川市の
協働マーク



幸せオーラを味方につける 夫婦・恋人のカタチ講座

ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA

加藤 佐紀子

1 DVとは

どちらか一方が

様々な方法で

相手を威圧的に支配し

= 暴力・人権侵害

自分の思い通りにしようとする行為

親密な関係＝夫婦(事実婚・同棲関係・若年・高齢)の間

= DV

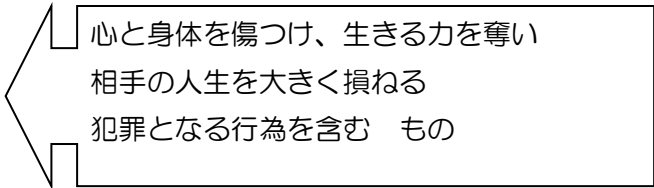
身体への暴力

言葉による暴力

経済力を利用した暴力

社会関係への暴力

性的なこと



心と身体を傷つけ、生きる力を奪い
相手の人生を大きく損ねる
犯罪となる行為を含むもの

2 DVの背景にあるものは何かを考える

ジェンダー 社会的な性差 女らしさ 男らしさ

自分らしさはどこに?

ジェンダーから固定化した社会関係 社会システム 権力関係が生まれる

3 DVの背景にあるもの

A 男性らしさに価値がおかれる、男性優位の社会システム

・自分は男である == 価値が高い という誤解 特権意識

・女性は社会の決定力を行使できる地位の中では少数派 力を持たされない存在

従属すべき存在 ⇒主である夫が中心、絶対、正しい、あがめられたい

オレを怒らせる妻がわるい 妻がダメなヤツ

⇒私が我慢すればいい…生き延び策が自分をつらくさせる

私がるい…暴力によるマインドコントロール

B 成果を上げるのが男 できる男は価値が高い できる女は両義的

できない男は社会から排除スプイルされる 弱音が出せない

⇒生きられる場所は家庭だけ 家庭だけは 男かぜを吹かさせる

C 暴力容認

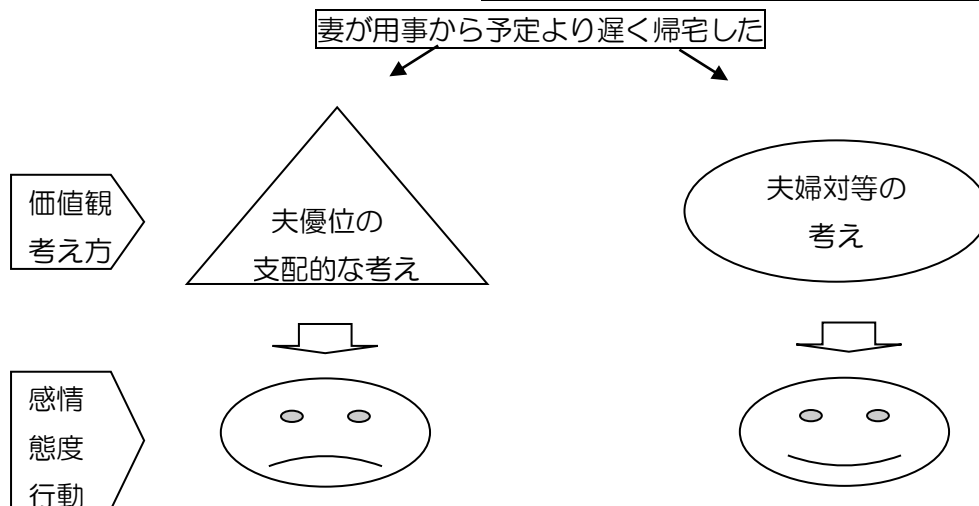
・力がある＝社会的に優位 腕力 財力 権力

・優位なものが劣位のを懲らしめるのは容認される

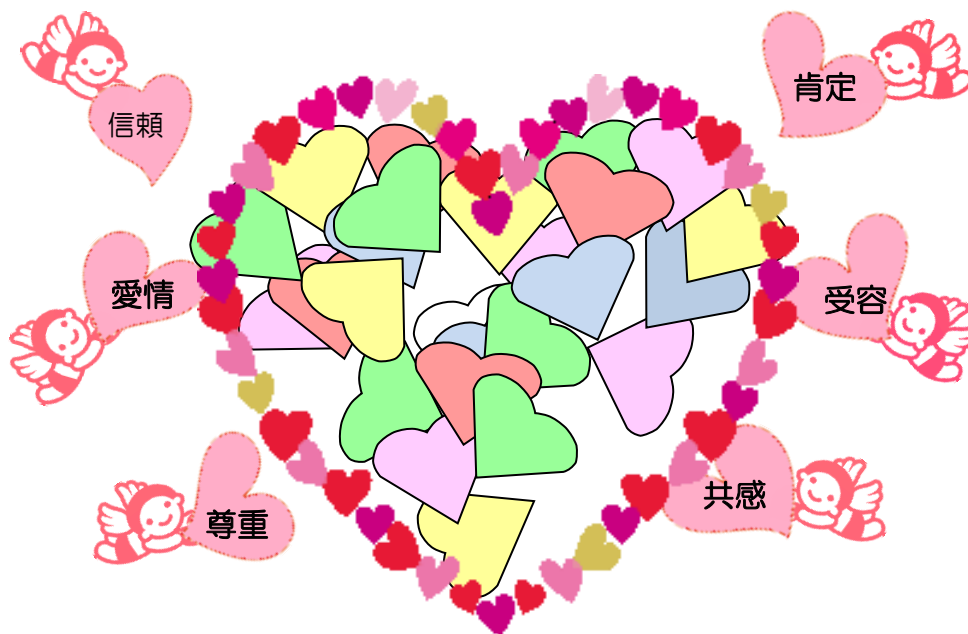
社会が認める 男性や暴力の優位性 力の誇示

4 支配についての考え方

暴力は 相手と手段を選んだ行動 ⇒ **選んだ人に責任がある あなたは悪くない**



5 心に栄養をくれるサプリメント

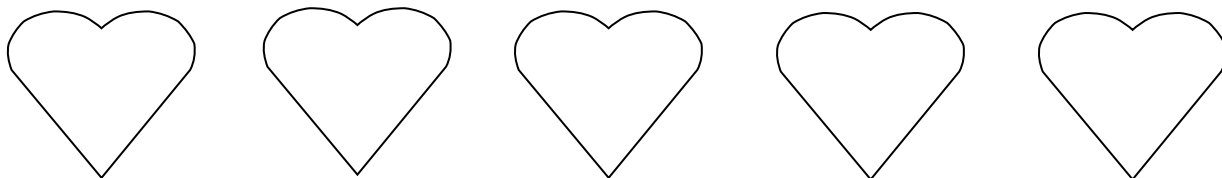


♡自分で心に栄養をあげるリストを作ろう

私を幸せにしてくれるもの・こと

-
-
-
-
-
-

♡自分のよいところ 長所



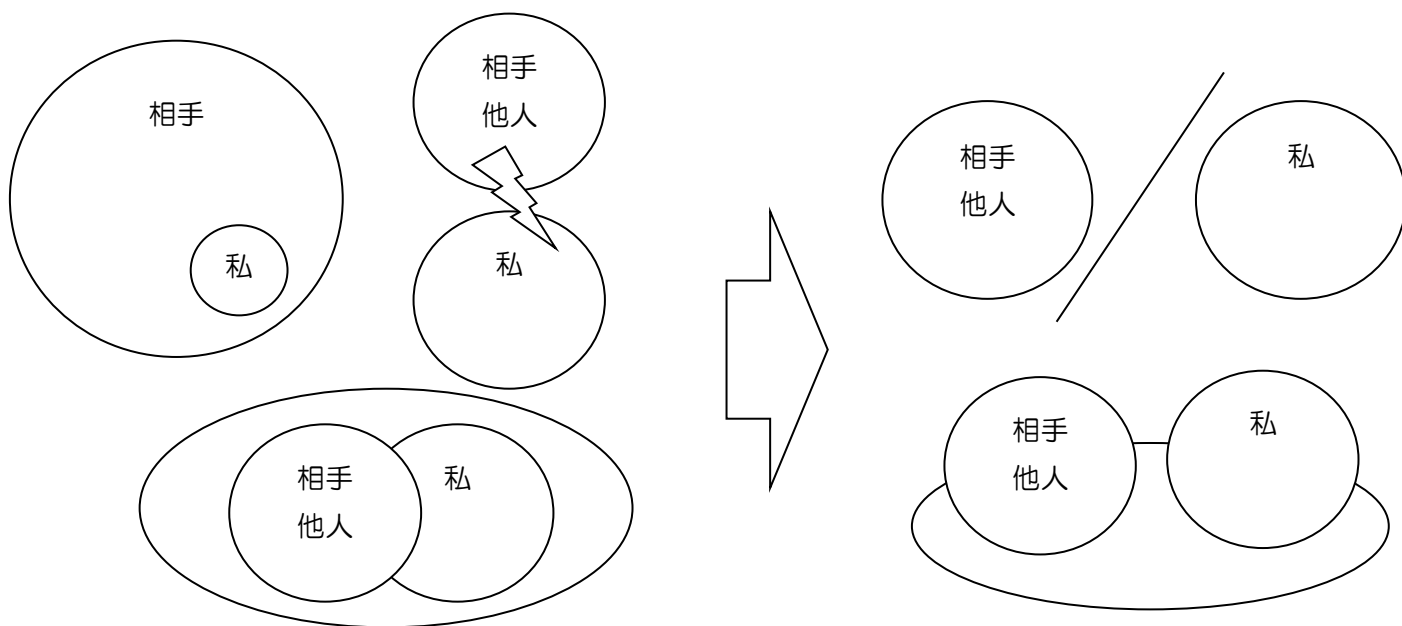
私はすごい！ いいものを持っている！
 あなたはすごい！ すてき！

6 DV ではない夫婦・恋人のカタチ

カップル幻想

対等な関係性のイメージ

風通しの良い関係



7 DV のない社会にしよう

男女平等の社会 多数者に権限が集中し、少数者が排除されるのではなく

多様性を受け容れられる社会

言葉を使い、相手と折り合いをつけつつ、自分を大切にする 生き方

一人ひとりが 自分を大切にし、自分と同じように相手を受け容れる

⇒ 社会全体が **男女共同参画社会** になる

総 括

講師	<p>豊川市の女性相談室を担当しているため、豊川市の現状に詳しい。 ジェンダーの視点を持ち、的確な言葉で対等な関係づくりを促せる類まれな講師である。 事前に講座内容を要望したところ、受け入れて下さった。 当日、DVが起きる社会の背景を丁寧に話して下さった。 受講者の緊張をほぐすアイスブレイクや言葉づかいで、打ち解けたいい雰囲気での講座が進んでいった。</p>
受講者	<p>聴覚障害者が1名受講。 手話通訳2名を介して、講師の話を理解された。 個別相談も希望され、手話通訳を介しての会話となった。 本人が豊川市福祉課に申請し、手話通訳を派遣申請した。</p> <p>3人(中学生、小学生、就学前)の子どもを連れて、受講した母親が1名いた。 当日、夫の態度や機嫌を伺いやっとの思いで参加された様子であった。 講座中は、会場のロビーや公園で3人が遊び、母親を待っていた。</p>
個別相談	<p>講座後、講師が個別相談を受け付けて下さった。 講師の好意で、大幅に延長し16:15まで相談を受け付けて下さった。 4名の受講者が順番に1:1で相談。 1名、約15分間。 自分の現状をどうにかしたいという切実な様子であった。 4名共、受講前から相談事を抱えており、受講に至ったと思われる。</p>
フリートーク	<p>講座後、フリートークの場を提供した。 受講者9名が参加。 受講者どうしの交流で、学んだ内容をさらに深めることができた。 講師は、個別相談を終えてから合流して下さった。 受講者は、講座中の疑問点を講師に聞くことができた。</p>
チラシ	<p>「DV理解講座」と前面に出さず、 「カウンセラーが伝授!! 幸せオーラを見方につける 夫婦・恋人のカタチ講座」とした。 受講するハードルを下げるためである。</p> <p>裏面は、豊川市主催「女性悩みごと相談」の紹介を印刷した。 豊川市市民部人権交通防犯課の協力。 本講座を受講できなくても、相談窓口があることを知らせることができた。</p>
情宣効果	<p>受講者は、個人の意思で受講した人ばかりだった。 豊川市内で全戸配布の「広報とよかわ」にも掲載したため、DV意識の啓発にもつながった。 「広報とよかわ」に掲載した記事を切り抜き、財布に入れて所持していた方もいた。</p>

託児	豊橋市在住の母親より、1名(小学1年生)の託児依頼があった。 託児従事者と元気で楽しく、過ごすことができた。 親元から離れ、遊ぶことで外の社会と関わる体験ができた。
託児 依頼先	(特非)とよかわ子育てネット 子どもと子育てにやさしい環境をめざしている市民団体。 会員には、多くの子育て中の母親が在籍。 豊川市の委託を受けて、つどいの広場「MAH」を毎週(月)～(金)開設。 その他、多くの子育て支援事業を展開している。
障害のある 方への支援	聴覚障害者が1名受講。講座受講だけでなく、講師に個人的な相談をされた。その際も手話通訳者2名が寄り添った。DV被害者支援が、障害者まで届いている必要があると感じた。障害に対する理解とDV理解のある、相談員育成が求められる。豊川市ボランティア連絡協議会に所属して豊川共生ネットみらいは、各ボランティア団体と支援体制を図っていきたい。
産後の母親 への支援	産後の母親は、産後うつ、初めての育児、体の変調などで、大きなリスクを背負っている状態。 さらに、夫からのDVを受けている母親もいる。 関係各機関と連携をとり、日常的に個別に支援を行う必要がある。
男性の受講 1名	豊川共生ネットみらい支援スタッフが1名、受講した。 自分の問題を、社会の問題として捉えることができている。 豊川共生ネットみらいは、これまで女性の支援スタッフが多かった。 男性本人からの相談もあるので、男性スタッフの育成、充実を図る。
企画・運営 の工夫	入室しやすいように、受付を設置しなかった。 受講者の個人情報(氏名も)は当日、一切聞かなかった。 体調に合わせて受講してもらえるように、途中退席自由にした。 始まりの挨拶で、 「避難する際は、ここにいる全員が1人も欠けずに避難できるよう、声を掛け合うことにご協力お願いします」と伝え、協力を求めた。 また、「屋外避難する際は、託児と保護者は屋外で合流」とする旨を、託児スタッフと保護者に申し合わせた。
今後に向けて	被害者にも加害者にもならないために、DVに発展する前での支援が必要である。 そのために、安心して何でも吐き出せる場づくりを豊川共生ネットみらいは開催している。 「女性のための談話室」(毎月第1金曜日10:00～12:00) 「男だけのしゃべり場」(毎月第4土曜日15:00～17:00) 「みらいカフェテリア」男女問わずのしゃべり場(毎月第3土曜日15:30～) また、各機関に密な連携を求め、協働を求めている。 DV理解講座の継続開催のため、愛知県健康福祉部の更なる支援をお願いしたい。

決算書

豊川共生ネットみらい

【収入の部】

項 目	決算額	
みらい一般会計	4,588	
託児預かり金	500	500円 × 託児1人 = 500
計	5,088	

【支出の部】

項 目	決算額		摘 要
会場費	2,375	985	講座会場
		1,390	託児会場
託児費	2,713	2,500	託児従事料 スタッフ1人 × 2.5時間(13:15~15:45) × 1,000円
		113	おやつ
		100	託児注意事項 郵送料
計	5,088		

講師謝金・旅費・・・愛知県が負担

アンケート 集計結果

参加 17名 (女性16名 男性1名)
回収 12枚

Q1 あなた自身のことをお伺いします。

①性別 女性 11名
男性 1名

②年齢 30代 3名
40代 5名
50代 3名
60代 1名

Q2 DVについて

1. 詳しく知っていた 1名
2. だいたいの内容は知っていた 8名
3. 言葉は聞いたことがあった 3名
4. 知らなかった 0名

Q3 講座の内容を理解できましたか。

1. 理解できた 7名
2. まあまあ理解できた 4名
3. あまり理解できなかった 0名
4. まったく理解できなかった 0名
5. その他 (未記入) 1名

Q4 講座はDVを理解するための参考になりましたか。

1. 参考になった 7名
2. まあまあ参考になった 3名
3. あまり参考にならなかった 1名
4. まったく参考にならなかった 0名
5. その他 (未記入) 1名

Q5 その他、ご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

参加者全員で考える時間が持ててよかったです。

時間があっという間でした。
ありがとうございました。

男の視点を取り入れてほしい
今回以上に
男のプライドからくるDVも
あると思うのでとり上げてほしい

「男らしさ・女らしさ」を書き出すワークでは「女らしさ」は自分のことなのに、ちっとも浮ばず、夫についても困っていることをつい書いてしまいました。
「できる・できない」に価値を置いていると支配関係が生じることがわかりました。
日常的にできごとを共有し、「ありがとう」「助けて」の言える関係をつくりあげていくことが、DVのない人間関係づくりだと、学びました。

「大切な私を守りながら、今から過ごして頂きたい」
「気分が悪くなったら廊下に出たり、その話は止めてほしいと言って下さってもよいです」
と話してくれた。
自分を守る方法を話してくれて、なんだか嬉しかった。
日常生活で、モラハラ、意見の押し付けをされた時でも、自分を守る言動ができるようになりたいと思いました。
講座に入ると、DVの定義、DVの種類、DVが起きる日本社会のシステムを、分かりやすく話してくれました。
DVは、相手を支配してしまうことだとよく分かりました。
そして男性の本音を知ることができました。
・自分（男性）が正しくて、あがめられたい
・妻は自分の付属物
・妻は、家事をやってあたり前
・オレを怒らせる妻が悪い
なるほどですね。
これまで出合った男性に、思い当たる節があります。
イライラしたからといって、机を叩いたり相手を殴り、暴力をはいけません。
「出来事や気持ち」を言葉で表現できると、よいのですが・・・
付箋を使ったワークでは、楽しく学べました。
・家事をこなさないと妻はダメ。
・かわいくて、明るくて、若くて、美しい女性が、正解。
・JK女子高生は、若くて無垢で力がなくて、男性が扱いやすい。
こんな考えが、社会にはびこっていることが、よく分かりました。
これから、どんな状況になっても、大切な自分の全てを守りながら、楽しく生きていきたいと思いました。

未記入 7名